1　国語

学校番号	３２０

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３	年次	３
使用教科書	大修館書店「新編現代文Ｂ」改訂版						
副教材等	「セレクト漢字検定」（桐原書店）・「みるみる実力アップ現代文３」（第一学習社）・「新訂国語図説」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ

現代文の読解力を高めるためには、自分にどれだけの語彙力があるかがひとつのポイントになる。本文に出てきた語句はいうまでもなく、積極的に辞書を引き、意味の分からない語句を少しでも減らそうと普段から勉強する習慣を身につけること。そして、より多くの、より長い文章にふれること。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し，適切に表現する能力を高めるとともに，ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに，国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして，自分の考えを深め，発展させている。	必要な情報を用い，相手や目的，課題に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えを深め，発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり，目的に応じて幅広く読んだりして，自分の考えを深め，発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め，知識を身に付けている。
主たる評価方法	・行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度） ・記述の確認（ノート，プリント，ワークシート）	・行動の観察（学習活動における発言内容や態度） ・記述の確認（ノート，プリント，ワークシート）	・記述の確認（ノート，プリント，ワークシート，レポート・感想文などの作成した文章） ・定期考査	・行動の観察（学習活動における発言内容や態度） ・記述の確認（ノート，プリント，ワークシート） ・定期考査	・行動の観察（学習活動における発言内容） ・記述の確認（ノート，プリント，ワークシート） ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想 どんな人になりたかったか	1 文章の流れをつかみ、随想の基礎的な読解方法を身につける。 2「どんな人になりたいか」という自分の将来像を考える。 3 筆者の心のうちを的確に読み取らせる。 4 基本的な漢字・語彙力を身につける。	○	○	◎		○	a：筆者の意見と自分の考え方が似ている思われることを、意欲的にノートに書いている。 b： 本文で挙げられている事例について，適切に話し合い，考えを深めている。〈行動の観察〉 c：自分が「どんな人になりたいか」について 400 字程度で書く。 e:自分自身の体験を振り返り、自分について話し合う。	行動の観察 記述の確認 定期考査
	随想 夢を建てる人々	1理想や夢をもつことの意味、社会的な責任を果たす生き方の大切さを考える。 2 随想の読解をとおして、筆者の心情を理解し、文章の特色を味わう。 3 優れた文章から受けた感銘をふまえて、自分の思いを文章にまとめる。	○		○	◎		a：「建てる」という語句に注目し、「夢を建てる」という表現についても考える。 c：自分の将来や夢や仕事について考えたことをノートに書きだしている。 d：自分の将来について考えながら、教材分を読み取ろうとしている。	記述の確認 定期考査
	小説 待合室	1 小説の構成や状況設定などをふまえながら、人と人との心の交流をとらえる。 2 登場人物の表情やしぐさ、会話など表現に着目し、具体的な場面に沿って人物像を把握する。 3 感想を話し合い、人生に対する考え方を深めさせる。	○	◎		○	○	a：登場人物の心情を想像しながら小説を読むことに意欲をもっている。 b：登場人物の設定が作品中で、どのような役割をもっていか、自分の意見をもって話し合いに参加している。 d：登場人物の人柄や心情を理解し、読み取っている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	行動の観察 記述の確認 定期考査

1学期	評論　ひかりのどけき春の日に	1　古来、日本人が桜に対する思いをどのように表現してきたかを理解し、桜をめぐる日本人のさまざまな心情を把握する。 2　日本を代表する古典やその作者たちに興味をもち、古典に親しむ態度をはぐくむ。 3　桜にまつわる文学作品などを集め、調べたことや考えたことをわかりやすく伝える。	○	◎		○	○	a：教材文に関心をもち、桜にまつわる日本人の感性について読み取ろうとしている。 b：桜を呼んだ詩歌や俳句を集めて発表する活動に積極的に参加し、わかりやすく話している。 d：紀貫之、在原業平、兼好法師の桜に対する思いを、それぞれ読み取っている。 e：桜を詠んだ詩歌や俳句について、知識や理解を深めている。	記述の確認 定期考査
2学期	評論　和の思想、間の文化	1　各段落の特徴、および、文章の構成や論の展開のしかたに着目しながら評論文を読み、筆者の主張を的確に把握する。 2　日本の伝統的な年中行事について調べ学習を行い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。 3　筆者が主張する「和」の力や「間」の働きを視座として、自らを取り巻く人間関係を見つめなおす。	○		○	○	◎	a：教材文を読み、日本文化の特質について興味を広げている。 c：「間」と日本文化との関係について、文章の構成にそって的確にまとめている。 d：わが国の文化について、西洋との比較をとおして理解している。 e：日本の古典や、伝統的な文化についての知識を深めている。	記述の確認 定期考査 行動の観察
	随筆　鉄を削る	1　実体験から生まれた随筆的な文章を読み、その体験の特性や文章表現の巧みさについて学ぶ。 2　職業に就き「社会に生きる」ことの意味を考え、自分の将来に向けての心構えの形成に役立てる。 3　他人の書いた文章を「読むこと」や他人の話を「聞くこと」、しれらを文章として「書くこと」で、自分の職業観を明確にする。	○	○	◎		○	a：教材文に興味をもち、職人の仕事に対する誇りを読み取ろうとしている。 b：仕事について身近な人から取材をしたことをグループで話し合う。 c：身近な人から仕事上の工夫や苦労について取材し、わかりやすく文章にまとめている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	記述の確認 定期考査 行動の観察

2学期	小説　こころ	1 難しい語句の意味を調べながら，本文を通読する。 2 多くの人々に読み継がれてきた近代小説の名作に触れ、それを読み継いでいこうという意欲をもつ。 3 小説を読むことをとおして、筋の展開、作中人物の心理や心情などをたどり、感動を味わう。 4 時代と小説とのかかわり、近代小説の中で夏目漱石の占める位置などを知り、ほかの近代小説の代表作にも視野を広げる。	○			◎	○	a ：難しい語句の意味を積極的に調べている。作者のほかの作品や、ほかの近代小説の代表作を調べている。 d ：登場人物の性格、行動について的確に読み取り、心情や情景を味わっている。 e ：当時の風俗や社会情勢について理解を深めている。	記述の確認 定期考査
3学期	短歌・俳句に親しむ	1 近代短歌史･俳句史の流れを総括する。 2 作者それぞれの特色をとらえつつ、鑑賞力の向上を図る。 3 音読して作品に親しみ､込められた心情などを想像しながら自分なりの感想をもつ。	○	○		◎	○	a ：短歌・俳句の特色を理解し、興味をもって親しもうとしている。 b ：好きな作者の人生や作品について、グループで話し合う。 d ：それぞれの作品の情景や季節観、世界観などを読み取っている。 e ：それぞれの作品の用語・語法・修辞・作者・時代背景などについての理解を深めている。	記述の確認 定期考査 行動の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。